

「まちづくりシンポジウム」の開催について

“民と官との連携による新たなまちなかづくり”

県では、県民のまちづくりに対する意識の向上を図るため、昭和61年度より「まちづくりシンポジウム」を開催しております。

今年度は、7月に新たな賑わいの拠点となることが期待される市民会館が開館した水戸市において、『民と官との連携による新たなまちなかづくり』をテーマに、「まちづくりシンポジウム」を開催し、「まちなか」の現在と将来像を見据え、民と官が連携した今後のまちづくりについて考えていきます。

また、まちづくり・景観等に対する県民の意識の高揚と、まちづくり活動促進のため、モデルとなるような団体・取り組みを表彰する「第6回チャレンジいばらきまちづくり表彰式」も行います。ぜひご参加及びご取材をお願いします。

- 1 日 時 令和6年1月23日（火） 13:30～16:30
- 2 場 所 水戸市民会館 ユードムホール（中ホール）
- 3 参加費 無料（要事前申込：県都市計画課ホームページから）
- 4 主 催 茨城県・水戸市・茨城県都市計画協会
- 5 内 容

○ 第6回チャレンジいばらきまちづくり表彰式 【13:40～14:00】

<チャレンジいばらきまちづくり大賞>

受賞団体：合同会社 iriai Tempo

事業名：「iriiai Tempo」-空き家を活用した「持続可能な地域」の拠点づくり-

<優秀賞>

受賞団体：関鉄レールファン CLUB

事業名：関東鉄道常総線及び竜ヶ崎線における公共交通の利用促進イベントの開催

○ 基調講演『水戸のまちなか魅力向上の取り組みと官民連携』 【14:00～14:40】

講師：平田 輝満 様（茨城大学都市システム工学領域教授）

○ パネルディスカッション『民と官との連携による新たなまちなかづくり』

【14:50～16:30】

コーディネーター：平田 輝満 様（茨城大学都市システム工学領域教授）

パネリスト：高橋 靖 様（水戸市長）

西尾 京介 様（株式会社 ユニークエディションズ 代表取締役）

川崎 篤之 様（グロービス経営大学院 ディレクター）

平松 良崇 様（有限会社 登利庄 代表取締役）

佐藤 穂奈美 様（株式会社 Coelacanth 代表取締役）

【本件に関するお問い合わせ先】

茨城県土木部都市局都市計画課

○まちづくりシンポジウムに関すること 企画調整G 担当：竹廣・佐藤(万)

TEL：029-301-4583（直通） FAX：029-301-4599

○チャレンジいばらきまちづくり表彰に関すること 都市行政G 担当：三宅・海老原

TEL：029-301-4579（直通） FAX：029-301-4599

まちづくりシンポジウム 2023

令和
6年

1月23日^火

13:30～16:30[受付13:00～]

会場

水戸市民会館
ユードムホール

[中ホール] 水戸市泉町1丁目7-1

入場無料

事前登録制

※定員に達し次第、申込み締め切

事前登録受付期間

令和5年11/27(月)～

令和6年1/19(金)

参加申込みはこちらから→

茨城県都市計画課HPからもお申込できます。

<https://www.pref.ibaraki.jp/doboku/toshikei/kikaku/machi/sympo2023.html>



民と官との連携による
新たなまちなかづくり

基調講演

「水戸のまちなか魅力向上の 取り組みと官民連携」



平田 輝満

茨城大学
都市システム工学領域教授

パネルディスカッション

コーディネーター 平田 輝満

茨城大学

都市システム工学領域教授

パネリスト



高橋 靖
水戸市長



西尾 京介
株式会社
ユニークエディションズ
代表取締役



川崎 篤之
グロービス経営大学院
ディレクター



平松 良崇
有限会社 登利庄
代表取締役



佐藤 穂奈美
株式会社
Coelacanth
代表取締役

チャレンジいばらきまちづくり表彰式

主催：茨城県・水戸市・茨城県都市計画協会 ※来場の際は公共交通機関のご利用をお願いいたします。車の場合は周辺の有料駐車場をご利用ください。

お問合せ先：茨城県土木部都市局都市計画課 Tel.029-301-4583 水戸市都市計画部都市計画課 Tel.029-232-9206



まちづくりシンポジウム2023 出演者プロフィール

●講師・コーディネーター

平田 輝満 茨城大学都市システム工学領域教授

2005年に東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻で博士(工学)を取得後、日本学術振興会特別研究員、運輸政策研究機構研究員、JAXA客員研究員、東京工業大学連携准教授等を経て、2013年に茨城大学工学部都市システム工学科准教授、2022年から同教授。

専門分野は土木計画学・交通工学で、特に空港計画・航空政策、道路交通安全、物流システム、地域公共交通などの研究に取り組む。

●パネリスト

西尾 京介 株式会社ユニークエディションズ 代表取締役

1966年京都市生まれ。大阪大学大学院工学研究科博士前期課程修了。日建設計、日建設計総合研究所にて大規模都市開発の計画、都市のビジョン・戦略策定、再開発等の調査・計画、地方都市の中心市街地活性化、エリアマネジメント、公共空間の活用等に従事。2021年に独立、既存の空間資源を活用したまちなか再生やエリア価値の向上に注力している。

著書に「PPR the Gears 公共空間利活用のための道具考」など。

●パネリスト

平松 良崇 有限会社 登利庄 代表取締役

水戸市泉町で不動産管理業を営む(有)登利庄の5代目。祖父と父親の影響で、まちづくりに関心を持つ。茨城大学で都市計画論を専攻後、水戸信用金庫に入庫。金融業務と大工町再開発に携わる。2016年3月、水戸市商工課とリノベーションスクールを実施。「まちづくり、ばしょづくり」の方針で、空き店舗やテッドスペース、老朽アパートの活用に取り組む。水戸美術館でのアートタワーマーケットを再開させ、黄門まつりにおいても、「お囃子」や「山車」を活用したまちのにぎわいづくりに継続的に取り組んでいる。

●パネリスト

高橋 靖 水戸市長

1965年6月17日生。2003年3月、明治大学大学院政治経済学研究科修士課程修了。1995年5月から水戸市議会議員(3期)。2005年9月から茨城県議会議員(2期)。2011年5月から水戸市長(現在4期目)。趣味はジョギング、サイクリング。座右の銘は細心大胆。

●パネリスト

川崎 篤之 グロービス経営大学院 ディレクター

ひたちなか市生まれ。立命館大学卒業後、国会議員秘書を経て水戸市議2期。グロービス参画後は代表室(社長室)にて代表直轄プロジェクトの戦略構築、政策・渉外を担当。現在、大学院部門にて地方創生型キャンパスのパイロットケースである「茨城水戸特設キャンパス」の開校に取り組み責任者を務める傍ら、MBA(経営学修士)を取得。プロバスケットボールBリーグ茨城ロボッツへ出向し、(株)いばらきスポーツタウン・マネジメント(現在M-SPOに改称)を起業、代表取締役にて就任。茨城ロボッツ取締役。水戸と真ん中再生プロジェクト事務局長。

●パネリスト

佐藤 穂奈美 株式会社 Coelacanth 代表取締役

茨城県大洗町出身。早稲田大学大学院卒。宅地建物取引士。「場の関係人口づくり」と「不動産活用」を得意とする。大規模再開発、空き家再生、不動産ファンド、コミュニティビルディングの仕事を経て2020年に茨城にUターンし、独立。空き家活用事業(「茨城カスタマイズ賃貸」)・リノベーション事業・不動産コンサルティング・イベント企画、行政受託事業等を実施。大洗町にてブックカフェ「BOOK & GEAR 焚火と本」を経営、茨城の暮らしと生業を体験できるWEBサイトLOCALBOOSTERの企画・運営も行っている。

会場のご案内

※来場の際は公共交通機関のご利用をお願いいたします。

バス 水戸駅北口(4~7番乗り場)から路線バスで泉町一丁目下車。

お車 周辺の有料駐車場をご利用ください。



茨城まちづくりセンター事業のお知らせ

まちづくりアドバイザー派遣制度

茨城まちづくりセンターでは、都市計画、都市環境デザイン、建築・住宅、景観、まちづくり活動、環境、福祉、商業の各分野の専門家の方々にご協力をいただき「まちづくりアドバイザー」として「まちづくり人材バンク」に登録をいただいております(令和5年6月現在46名)。市町村や住民団体等がまちづくりの講演会などを実施する際に、まちづくり人材バンクの登録者をまちづくりアドバイザーとして派遣し、費用の一部を支援しますので、ぜひご活用をご検討ください。

詳しくは ▶
こちら



まちづくりライブラリー

県民の皆さまがまちづくりに関する情報を収集できるよう、図書、ビデオなどを収蔵し貸し出しを行っております。皆さまのご利用をお待ちしております!

- 蔵書数:約1,400冊
- 貸出期間:2週間(一人5冊まで)
- 場所:県庁20階まちづくりセンター

詳しくは ▶
こちら



茨城まちづくりセンターに関するお問い合わせ

茨城県土木部都市局都市計画課企画調整担当
Tel.029-301-4583 Fax.029-301-4599

第6回チャレンジいばらきまちづくり表彰 受賞者の決定について

【目的・効果】まちづくり・景観等に対する県民の意識の高揚と、まちづくり活動の促進のため、モデルとなるような団体・取り組みを表彰する。

【応募・選考方法】市町村長等から提出された推薦調書により審査委員会が活動の内容を審査し、その内申に基づき、土木部長が受賞者を決定する。

<チャレンジいばらきまちづくり大賞（知事表彰）>

最もチャレンジ精神に富み、かつ優秀な成果を上げた者

受賞団体：合同会社 iriai Tempo

事業名：「iriiai Tempo」-空き家を活用した「持続可能な地域」の拠点づくり-

つくば市の周辺市街地(合併前の旧町村の中心地域)である北条は、筑波山麓の農産物の集積地や加工販売の中心地として発展し、現在でも竹工芸や藍染を作る若手作家が活躍しているが、少子高齢化に伴う地域コミュニティの弱体化により、流通や広告などの情報発信が難しくなったことで、周辺地域の住民でさえ見たり購入したりする機会が減っていた。

そこで、地域住民を中心とする団体が、築100年ほどの古民家を借り受けて改修し、無料で利用できる「たまり場」、地域物産品や生活工芸品を扱う「商店」及びイベントやワークショップの会場となる「レンタルスペース」を併設した「iriiai Tempo」を2021年3月に開設した。

地域住民や観光客との交流の場として活用され、地域活性化に貢献している。



レンタルスペース



たまり場



商店

iriiai Tempo正面入り口を入るとたまり場。たまり場の左斜め奥が地域物産品や生活工芸品を扱う商店で、右斜め奥がイベントやワークショップ会場として利用できるレンタルスペース

<優秀賞（土木部長表彰）>

〔まちづくり活動部門〕

まちづくり活動により地域の魅力を高めた者

受賞団体：関東レールファンCLUB

事業名：関東鉄道常総線及び竜ヶ崎線における公共交通の利用促進イベントの開催

関東鉄道常総線及び竜ヶ崎線は利用者の減少により、一部区間を除いて赤字額も増加傾向にあった中、関東鉄道常総線・竜ヶ崎線の活性化及び沿線のにぎわい創出、そして鉄道利用の促進を目標に、2002年4月「関東レールファンCLUB」を設立した。

ファンCLUBは、マスコットレディー「関東レール メイト」の活動や、地元商店と協力した飲料、コロッケ、パン、どら焼き、焼きそばなど多岐にわたる「竜鉄ブランドメニュー」の選定、毎月実施する「とばのえステーションギャラリー」など、沿線自治体や商店等との連携による様々なイベントを展開することで、鉄道の利用促進と賑わいづくりに貢献している。



関東鉄道竜ヶ崎線



竜ヶ崎線の車内つり革には竜鉄コロッケを模した食品サンプルが取り付けられている



竜ヶ崎市地域公共交通活性化協議会と共同選定した竜鉄ブランドメニュー